

教師試験検定問題集 15

2019 年（春期）～ 2021 年（夏期）

真 宗 学	2
仏 教 学	6
教 化	10
声明作法	15
法 規	22
解答のポイント (真宗学・仏教学)	44

真宗大谷派

◎教師条例抜粋

第5条 教師検定は、教師補任の資格を考査し、試験による検定と無試験による検定の2とする。

2 満18歳に満たない者及び懲戒処分中の者は、教師検定を受けることができない。

第6条 教師検定は、教師検定委員会が行う。

◎教師条例施行条規抜粋

第2条 条例第5条第1項に定める試験による検定（以下「試験検定」という。）は、毎年3月及び8月の2回宗務所で行う。

第8条 試験は、次に掲げる科目及び方法により行う。

- | | |
|----------|---------|
| (1) 真宗学 | 筆記 |
| (2) 仏教学 | 筆記 |
| (3) 教化 | 小論文及び面接 |
| (4) 声明作法 | 実技及び筆記 |
| (5) 法規 | 筆記 |

2 試験の受験者は、前項各号に掲げる科目試験のほか、受験の都度、受験者講習を受講しなければならない。

第10条 試験の判定は、条例第6条に定める教師検定委員会（以下「教師検定委員会」という。）が行うものとし、全科目が合格点に達した者を合格とする。

2 試験の評点は、各科目につき100点を満点とし、60点以上を合格とする。ただし、声明作法については、実技・筆記ともにそれぞれ取得すべき基準点を設けるものとする。

3 前項ただし書の基準点は、教師検定委員会が定める。

4 第8条第2項に定める受験者講習を受講しない者は、当該試験において受験したすべての科目について不合格とする。

5 試験合格者には、合格証を交付する。

第11条 合格点を得た科目については、その証明書を交付する。

2 前項の証明書を有する者で、さらに受験を出願したときは、その証明書交付の月から3年間、当該科目の試験を免除する。

*解答欄は省略しています。

*2020年（夏期）より【教化】は小論文（事前レポート）及び面接による試験、【声明作法】は実技及び筆記による試験となりました。

*2019年（春期）より【真宗学】【仏教学】の論述問題について、「解答のポイント」を作成し、検定実施後に受験者に提示しています。参考のため巻末に掲載しています。

【真 宗 学】

2019年（春期）

- 1 「大行とは、すなわち無碍光如来の名を称するなり」の語にもとづいて、浄土真宗における「真実行」について、詳しく述べなさい。
- 2 親鸞聖人における『教行信証』撰述の意義について、詳しく述べなさい。
- 3 次の語句の読みと意味を記しなさい。
 - (1) 五 念 門 ()
 - (2) 嘉禄の法難 ()
 - (3) 出 世 本 懐 ()
 - (4) 『浄土論註』 ()
 - (5) 和国の教主 ()

2019年（夏期）

- 1 「それ、真実の教を顕さば、すなわち『大無量寿経』これなり」とはどのような意味か、詳しく述べなさい。
- 2 『歎異抄』第三章にもとづいて、親鸞聖人における「悪人」について詳しく述べなさい。

3 次の語句の読みと意味を記しなさい。

- (1) 元 久 の 法 難 ()
- (2) 易 行 道 ()
- (3) 二 河 譬 ()
- (4) 『選択本願念仏集』 ()
- (5) 常 行 大 悲 ()

2020年 (春期)

1 「浄土三部経」の経典名をあげ、それぞれの内容について簡潔に述べなさい。

2 『歎異抄』の「如来よりたまわりたる信心」という言葉にもとづいて、親鸞聖人における「信心」について詳しく述べなさい。

3 次の語句の読みと意味を記しなさい。

- (1) 断 惑 証 理 ()
- (2) 正 定 業 ()
- (3) 世 自 在 王 仏 ()
- (4) 『恵信尼消息』 ()
- (5) 古 今 楷 定 ()

2020年（夏期）

- 1 「雑行を棄てて本願に帰す」という言葉に基づいて、親鸞聖人における「回心」について詳しく述べなさい。
- 2 『観経』に説かれる「王舎城の悲劇」について簡潔に述べ、それが何を教えているか考えるところを述べなさい。
- 3 次の語句の読みと意味を記しなさい。
 - (1) 六 字 釈 ()
 - (2) 摧 邪 輪 ()
 - (3) 三輩往生 ()
 - (4) 報化二土 ()
 - (5) 一經两会 ()

2021年（春期）

- 1 「真仏弟子」という言葉に基づいて、親鸞聖人における仏弟子観について詳しく述べなさい。
- 2 『大経』に説かれる「法蔵菩薩の発願」について詳しく述べなさい。
- 3 次の語句の読みと意味を記しなさい。
 - (1) 一經兩宗 ()
 - (2) 善鸞義絶 ()
 - (3) 往生要集 ()

(4) 五 正 行 ()

(5) 停弱怯劣 ()

2021年(夏期)

1 「この経の大意は、弥陀、誓いを超発して、広く法蔵を開きて、凡小を哀れみて、選びて功德の宝を施することをいたす。釈迦、世に興して、道教を光闡して、群萌を拯い、恵むに真実の利をもってせんと欲してなり。」(聖典 152 頁) という親鸞の言葉にもとづいて、釈尊の出世本懷について詳しく述べなさい。

2 『教行信証』のいわゆる後序に記される言葉(聖典 398 頁)にもとづいて、親鸞聖人にとっての「承元の法難」について詳しく述べなさい。

3 次の語句の読みと意味を記しなさい。

(1) 定 散 二 善 ()

(2) 『十住毘婆沙論』 ()

(3) 聖 徳 太 子 ()

(4) 三 経 一 論 ()

(5) 正 定 聚 ()

【仏 教 学】

2019年（春期）

- 1 「戲論寂滅」の視点から龍樹の中観思想を解説せよ。
- 2 次の各語の読み方を（ ）に記し、意味を 50 字以内（句読点を含む）で説明せよ。
 - (1) 四 聖 諦（ ）
 - (2) 本 生 話（ ）
 - (3) 唯識三性説（ ）
 - (4) 教 相 判 釈（ ）
 - (5) 涅槃 經（ ）
- 3 隋・唐仏教の主な特徴について了解するところを述べよ。

2019年（夏期）

- 1 四門出遊の物語について、①物語の内容を説明し、②釈尊出家の理由を考察せよ。（①②と分けて書くこと）
- 2 次の各語の読み方を（ ）に記し、意味を 50 字以内（句読点を含む）で説明せよ。
 - (1) 四 聖 諦（ ）
 - (2) 燃灯仏授記物語（ ）
 - (3) 涅槃 經（ ）

(4) 教 相 判 釈 ()

(5) 玄 奘 ()

3 中国仏教の流れを、①大きく四つの時期に分け、②各時期の特徴を簡潔に述べよ。(①②と分けて書くこと)

2020年(春期)

1 「菩薩」について、①ジャータカ物語の菩薩から大乘の菩薩への転換、②大乘仏教における菩薩思想の重要性、の観点から述べよ。(①②と分けて書くこと)

2 次の各語の読み方を()に記し、意味を50字以内(句読点を含む)で説明せよ。

(1) 初 転 法 輪 ()

(2) 般 若 経 ()

(3) 教 相 判 釈 ()

(4) 鳩 摩 羅 什 ()

(5) 遍計所執性 ()

3 中国南北朝時代の仏教について、①代表的な仏教者を数名取り上げて解説し、②この時代の仏教の特徴を説明せよ。(①②と分けて書くこと)

2020年（夏期）

- 1 釈尊の「初転法輪」について、①内容をできるだけ具体的に解説する。②その意義について思うところを述べる。（①②と分けて書くこと）
- 2 次の各語の読み方を（ ）に記し、意味を50字以内（句読点を含む）で説明せよ。
- (1) 菩提流支（ ）
 - (2) 阿含經典（ ）
 - (3) 燃灯仏授記（ ）
 - (4) 虚妄分別（ ）
 - (5) 末法思想（ ）
- 3 中国仏教における鳩摩羅什の業績について、①特に重要な点を三つ挙げる。②それを具体的に解説し、重要と考えた理由を述べる。（①②と分けて書くこと）

2021年（春期）

- 1 「四聖諦の教え」について、四つの関係が明確になるよう解説せよ。
- 2 次の各語の読み方を（ ）に記し、50字以内（句読点を含む）で説明せよ。
- (1) 四門出遊（ ）
 - (2) 般若波羅蜜（ ）
 - (3) 二諦説（ ）

(4) 廃 仏 ()

(5) 曇 無 讖 ()

3 中国仏教の特徴である「教相判釈」について、その内容を具体的に述べよ。

2021年(夏期)

1 釈尊の「自灯明 法灯明」の教えについて、①内容を簡潔に説明する。②それは私たちに何を教えようとするのか思うところを述べよ。
(①②と分けて書くこと)

2 次の各語の読み方を () に記し、意味を 50 字以内 (句読点を含む) で説明せよ。

(1) 梵天勸請 ()

(2) 戲論寂滅 ()

(3) 世 親 ()

(4) 一 闍 提 ()

(5) 天 台 宗 ()

3 経典漢訳について、特に重要な人物を三人挙げ、解説せよ。

【教 化】

2019年（春期）

- 1 本派の『教化基本条例』第二条は次のように定めている。「本派の教化は、宗祖親鸞聖人の立教開宗の精神に基づき、自信教人信の実践により同朋社会の顕現につとめることを本旨とする。」（第二条）

この「教化の本旨」についての了解を述べよ。

- 2 まずはじめに、讃題の心得で、自分の覚えている宗祖親鸞聖人、あるいは聖教の言葉の一節を記せ。

次に、その教えの言葉について、五分程度で、ゆっくりとていねいに話せる分量の了解を記せ（目の前にいる人に語りかける心づもりで、文章の語尾は「です、ます」調にする）。

※讃題 法話のはじめに、聖教の言葉の一節を掲げる形式

2019年（夏期）

- 1 「真宗本廟」、「御同朋御同行」、「自信教人信」の要語を中心に、宗門の歴史と願いをふまえ、本派の教師になろうとする自らの志を述べよ。

- 2 「真実の称名と真実の信樂をえたる人は、すなわち正定聚のくらいに住せしめんと、ちかいたまえるなり。」（『浄土三経往生文類』）

上記の言葉を念頭に、親鸞聖人の教えについて、参詣の方々に話しかけるように記しなさい。（語調は「です」「ます」にする）

- 1 2023年に迎える宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要のテーマは「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」である。

親鸞聖人は「本願力にあいぬれば むなしくすぐるひとぞなき 功德の宝海みちみちて 煩悩の濁水へだてなし」と和讃している。この不虛作住持功德の和讃をふまえて、慶讃法要テーマについて感じることを300～400字程度にまとめよ。

- 2 「聖人一流の御勸化のおもむきは、信心をもって本とせられ候う。そのゆえは、もろもろの雑行をなげすて、一心に弥陀に帰命すれば、不可思議の願力として、仏のかたより往生は治定せしめたまう。」

上記の言葉について、あなたが教師として法座で法話をすることを想定し、聴聞者に語りかけるように記せ。

（下記の項目をふまえること）

- ①この言葉の典拠。
- ②「聖人一流」、「もろもろの雑行」、「一心に弥陀に帰命」の三つの言葉に留意した文意の説明。
- ③みずからの生活を通じた了解。
- ④聴聞者への仏法聴聞の勧め。
- ⑤語調は「です」「ます」にする。

小論文（事前レポート）

課 題

浄土真宗における教化とは、如来の教化を受ける自己が明らかになることである。そのことを中心にして、次の一、二のテーマについて述べよ。

一、親鸞聖人の教化

「親鸞は弟子一人ももたず」（『歎異抄』第六章、『御文』一帖目第一通）という言葉に込められた願いをふまえて、親鸞聖人は「教化」をどのように受けとめられていたのかを述べよ。

（1000字以上1200字以内）

二、生きるということ～私の課題

次に、あなた自身が「如来の教化を受ける」という自身の課題について、どのような問題を抱え何に苦悩して生きてきたのか、自分の言葉で自由に述べよ。

（600字以上800字以内）

それぞれ、「一、親鸞聖人の教化」、「二、生きるということ～私の課題」というテーマを見出しとして書き始めること。それぞれの字数制限に留意のこと（見出しは字数に含まない）。一と二の間は、続けて同じ用紙には書かず、頁を改めること。

小論文（事前レポート）

課 題

浄土真宗における教化とは、如来の教化を受ける自己が明らかになることである。そのことを中心にして、次の一、二のテーマについて述べよ。

一、親鸞聖人の教化

①不虛作住持功德の文「観仏本願力 遇無空過者 能令速満足 功德大宝海」（『真宗聖典』一三七頁）について説明せよ。

②次に不虛作住持功德を体験した親鸞聖人の生き方について述べよ。

（①②あわせて1000字以上1200字以内）

二、自分自身の人生の足あとに聞く～私の課題～

次に、あなた自身が「如来の教化を受ける」という自身の課題について、自分自身の人生をふりかえり、どのような問題を抱え何に苦悩して生きてきたのか、自分のことばで自由に述べよ。

（800字以上1200字以内）

それぞれ、「一、親鸞聖人の教化」、「二、自分自身の人生の足あとに聞く～私の課題～」というテーマを見出しとして書き始めること。それぞれの字数制限に留意のこと（見出しは字数に含まない）。一と二の間は、続けて同じ用紙には書かず、頁を改めること。

小論文（事前レポート）

課 題

浄土真宗における教化とは、如来の教化を受ける自己が明らかになることである。そのことを中心にして、次の一、二のテーマについて述べよ。

一、親鸞聖人の教化～法然上人との出遇いをとおして～

法然上人と親鸞聖人との出遇いの意義について、本願成就文に依りながら説明せよ。
(1000字以上1200字以内)

二、出会いによって開かれる人生～私の課題～

次に、自分自身の人生をふりかえり、人との出会いによって学び得た課題を、自分のことばで自由に述べよ。

(600字以上800字以内)

それぞれ、「一、親鸞聖人の教化～法然上人との出遇いをとおして～」、「二、出会いによって開かれる人生～私の課題～」というテーマを見出しとして書き始めること。それぞれの字数制限に留意のこと（見出しは字数に含まない）。一と二の間は、続けて同じ用紙には書かず、頁を改めること。

【声明作法】

2019年（春期）

1 本堂における各尊奉安の位置を述べなさい。

（1）本 尊

（ ）

（2）親鸞聖人

（ ）

（3）蓮如上人

（ ）

（4）聖徳太子・七高僧

（ ）

（5）開基・先住職等の似影又は法名

（ ）

2 次の文章の中に適語を入れなさい。

（1）当派で用いる香炉は金香炉と（ ）の二種類である。

（2）仏供を盛る器を（ ）という。

（3）中尊前の上卓に用い、櫛を挿す一対の器を（ ）という。

（4）華束を盛る八角形の台を（ ）という。

（5）多人数での読経を揃えるための拍子木を（ ）という。

3 当派で用いる念珠の種類を書きなさい。

() () ()
() ()

4 当派で依用する衣の種類を書きなさい。

() () ()
() () ()

5 次の語句の読み仮名を () に記し、その用途について簡単に説明しなさい。

- (1) 梵 鐘 ()
- (2) 喚 鐘 ()
- (3) 平 鑿 ()
- (4) 鈴 ()
- (5) 砂 張 ()

2020年(春期)

1 本堂における各尊奉安の位置をくわしく述べなさい。

- (1) 本 尊
()
- (2) 親鸞聖人
()
- (3) 蓮如上人
()

(4) 聖徳太子・七高僧

()

(5) 開基・先住職等の似影又は法名

()

2 次の各語の読み方を () にひらがなで記し、その用途について説明しなさい。

(1) 火 舎 香 炉 ()

(2) 香 盒 ()

(3) 仏 器 ()

(4) 華 瓶 ()

(5) 花 瓶 ()

(6) 透彫土香炉 ()

(7) 夷 形 香 盤 ()

(8) 七 角 香 盤 ()

(9) 月形仏供台 ()

(10) 供 筭 ()

3 当派で用いられる拝読文を5種類、漢字で書きなさい。

() () ()

() ()

4 当派で用いられる袈裟を6種類、漢字で書きなさい。

() () ()

() () ()



1 中尊前の荘厳について次の（ ）の中に適当な語句を書きなさい。



須弥壇上に（ ）を設け、その奥正面台座の上に（ ）を置き本尊を安置する。

本尊の前方須弥壇上に（ ）を置き、その上に（ ）を中央正面に、そのすぐ前に（ ）を、前方左右卓の両端に（ ）を置く。

須弥壇の前正面内陣地板の上に（ ）を置き、その上には（ ）を中央正面に、向かって右に（ ）左に（ ）を置く。

2 次の節譜の名称を、また次の名称の節譜の形を書きなさい。

(1)  () (2)  ()

(3)  () (4)  ()

(5)  () (6) オドリ ()

(7) 引押え () (8) オクリ ()

(9) クリ入 () (10) 三ツバネ ()

3 次の語句の読み方を（ ）内に記し、その語句について簡単に説明しなさい。

(1) 供 筈 ()

(2) 向 疊 ()

(3) 華 籠 ()

(4) 音 木 ()

(5) 挿 鞋 ()

2021年(春期)

1 次の語句の読み方を () に記し、その語句を説明しなさい。

(1) 調 声 ()

(2) 助 音 ()

(3) 巡 讃 ()

2 当派で用いられる拝読文を漢字で書きなさい。

() () ()

() ()

2021年(夏期)

1 次の正信偈の鑿二打の大きさと間拍子を例にならって記しなさい。

(例) 草四句目下 (小 2 中)

舌 々 ()

中 拍 子 ()

真 読 ()

真四句目下 ()

句 淘 ()

2 次の懸和讃の添を記しなさい。

七宝講堂道場樹 ()

十方微塵世界の ()

諸仏の護念証誠は ()

眞實信心うるひとは ()

本願力にあひぬれば ()

3 当派で用いる偈文の種類と出典を記しなさい。

種 類

出 典

[] ()

[] ()

[] ()

[] ()

[] ()

4 次の名称の節譜の形を記しなさい。

(1) ク リ 入 ()

(2) オ ク リ ()

(3) オ ド リ ()

(4) 沈 折 ()

(5) タ タ キ ()

【法 規】

2019年（春期）

設問1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

宗門の（ ① ）である真宗大谷派宗憲は、1981年に全面改正され現在に至っています。この宗憲が改正された直接的な理由は、1969年に惹起した開申事件に端を発する教団問題が契機とされていますが、根本的には、1962年に提起された信仰運動である（ ② ）をとおして、教団としての在るべき姿を指し示し、現代社会に 대응する宗憲を願う宗門世論が全国的に湧き上がってきたことによるものです。この宗憲改正は、これまでの体制を根本的に転換し、宗門が現代社会に存立する本義を、宗門人自らの意志で闡明にしようとするものでした。

1977年、当時の宗議会・㊦門徒評議員会をはじめ、諸種の会議や教区からの要請を受けて宗憲並びに諸法規の改正を目的とする宗憲改正委員会が設置されました。この委員会の設置は、いよいよ宗門存立の本義の明確化に歩み出しを始めたものとして、重要な転換期となりました。その後、1981年に第112回定期宗議会及び門徒評議員会で新しい「真宗大谷派宗憲」が可決され、（ ③ 月 日 ）をもって公布施行されることになります。

その宗憲改正の要点は、まず（ ④ ）を設けて、宗門生成の歴史とその存立の本義、宗門運営の基本理念を明確に掲げたことにあります。宗門が宗祖親鸞聖人によって顕らかにされた教法を聞信する（ ⑤ ）によって保持されてきた伝統に立ち、「同朋社会の顕現」、「宗本一体」、「同朋の公議公論」を根幹として宗門運営を行うことを宣言しました。

次に、教団問題を引き起こす要因の一つにもなった（ ⑥ ）・本願寺住職・管長の三位一体の地位が廃止され、門首制が確立しました。門首の宗務に関する行為はすべて内局の（ ⑦ ）を必要とし、内局がその責任を負うことや（⑦）事項を拒み、またこれに干渉することができないことを定め、門首の宗務上の無答責を明確にしました。門首は、「僧侶及び門徒の（ ⑧ ）にあって、同朋とともに真宗の教法を聞信する」という意味で、同朋を代表して本廟の留守にあたり、全ての宗務執行権と責任は宗会の議決に基づいて①宗務を執行する内局に移行されました。

また、御影堂・阿弥陀堂を中心とする聖域を（ ⑨ ）と規定し、「本派の崇敬の中心、教法宣布の根本道場」と位置づけ宗本一体を実現しました。これは、単に本願寺の宗派離脱といった不当行為を引き起こさせない対抗的手段として㉔両法人の合併をおこなったのではなく、教団の中心は人ではなく教法によって統理される教団という組織理念をあらためて明示したのです。さらに宗門の運営は、同朋公議にもとづき、宗派の（ ⑩ ）である宗会の議決によって行われるようになりました。

（②）の推進によって願われた教団の在り方は、教団の様々な危機を縁として宗憲改正により新たな再生の一步を踏み出しました。宗祖親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要を迎えんとする今、あらためて宗憲改正によって確かめられた宗祖の立教開宗の精神に訪ねていかねばなりません。

- （１）文章中の（ ① ）～（ ⑩ ）に当てはまる適語を答えなさい。
- （２）下線㉔の機関は、新宗憲において新たな機能と役割を持って位置づけ直されたが、その機関の名称を答えなさい。
- （３）下線①の宗務とは何を指すのか答えなさい。

- (4) 下線㉔の両法人の名称と、その合併の効力が発生した時期を年月日で答えなさい。

設問2 次の(1)～(10)の各文は下にある関係法規の抜粋です。
(①)～(⑩)の中に入れるべき適切な用語と、各文が規定されている法規の分類記号を、解答欄に記入しなさい。

【法規の分類記号】

- A 真宗大谷派宗憲 B 宗教法人「真宗大谷派」規則
C 宗教法人法 D 所轄庁の認証を受けた寺院の規則

- (1) 内局は、宗憲に定めるところにより、宗務総長及び(①)で組織する。
- (2) 歳計の不足を補うため(②)を設ける。
- (3) 代表役員は、この寺院の(③)の職にある者をもって充てる。
- (4) この法人は、毎会計年度終了後三月以内に、(④)を作成しなければならない。
- (5) 宗教法人の第四十三条第一項の規定による解散は、当該解散に関する(⑤)によってその効力を生ずる。
- (6) この宗門は、(⑥)と称する。
- (7) 本派の教化は、宗祖聖人によって開顕された教法を明らかにし、(⑦)を挙げることを本旨とする。
- (8) 別院は、枢要の地若しくは開教上必要のある地に、又は由緒によりこれを設け、その地方の(⑧)とする。
- (9) 規則に別段の定がなければ、宗教法人の事務は、(⑨)の定数の過半数で決し、その(⑨)の議決権は、各々平等とする。

- (10) (⑩) は、この寺院の業務について、勧告及び助言をすることができる。

設問3 次の語句の読み仮名を答えなさい。

- (1) 遺弟 (2) 同朋 (3) 崇敬 (4) 平衡
(5) 組長 (6) 教法 (7) 侍董寮 (8) 由緒沿革
(9) 留守職 (10) 読誦

設問4 文章中の (①) ～ (⑩) に当てはまる適語を答えなさい。

- (1) 宗教法人は、教義をひろめ、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする宗教団体が (①) 若しくは (②) の認証を経て法人格を取得したものです。
- (2) 宗教法人が合併や解散などの重要な行為をしようとするときは、信者その他の利害関係人に (③) することが義務づけられています。
- (3) 宗教法人には、宗派や教団のように寺院、教会、神社などを傘下に持つ (④) 宗教法人があります。この傘下にある宗教法人を (⑤) 宗教法人、傘下のないものを単立宗教法人といいます。
- (4) 代表役員が病気やその他の事由で (⑥) 以上その職務を行うことができないときには、規則で定めるところにより (⑦) を置かなければなりません。
- (5) 代表役員と責任役員は宗教法人に必置の機関であり、代表役員は、宗教法人を代表し、その事務を (⑧) し、責任役員は規則で定めるところにより、宗教法人の事務を (⑨) します。
- (6) 宗教法人の規則の変更は、当該規則の変更に関する (⑩) によってその効力が生じます。

設問1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

憲法第20条には（①）が保障されており、内心における特定の宗教を信じる自由が与えられています。これにより（②）は、布教活動や儀式行事の執行などの宗教活動を自由に行うことができる」と解釈されていますが、当然のことながら、㉞宗教活動が公共の福祉に反した場合は、他の法令の規定が適用されることになります。

この（②）には、㉟礼拝の施設を備える神社、寺院、教会、修道院その他これらに類する団体と㊱前述する団体を包括する教派、宗派、教団、教会、修道会、司教区その他これらに類する団体との二つの種類があります。下線㉟の団体を（③）といい、下線㊱の団体を（④）といいます。

（①）に基づき、特定の教えを信じる人々が集まり、一つの信仰共同体が形成されてくると、その資産を共同体の資産として管理運用するなど、法律上の人格を備えることが必要になってきます。宗教法人法は、（②）に法律上の人格である（⑤）を与えることを目的に制定されました。この法律により（⑤）を取得した場合、一部税制上の（⑥）措置が適用され、財産管理上の利点を与えられることになります。

宗教法人法は、宗教活動の自由を最大限に保障するため、役員の資格・任免、必要な機関の設置、財産処分の方法等について、できるだけそれぞれの団体の特性に応じた自主的、自律的運営に委ねています。そのため法人の管理運営を適正に行うために（⑦）を作成し、その（⑦）にのっとって法人の意思決定を行わなければなりません。法人の事務を決定するために宗教法人に（⑧）以上

の責任役員を置き、そのうち一人が宗教法人を代表し、事務を総理する（ ⑨ ）になります。

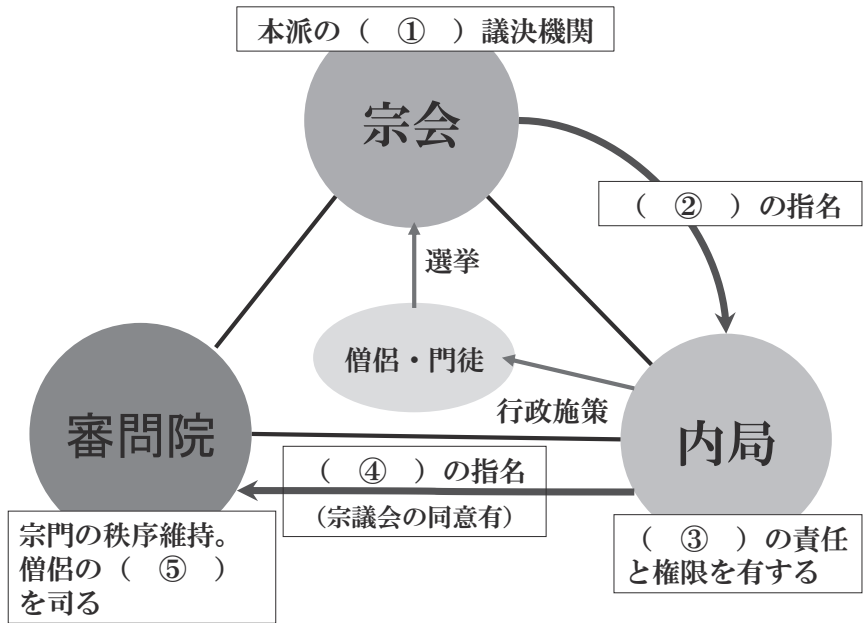
宗教法人の事務所には、㊦事務に必要な書類や帳簿を備え付け、また、財産処分や規則変更などのとりわけ重要な事項については適切な方法により公告を行い（ ⑩ ）に周知する必要があります。

- （１）文章中の（ ① ）～（ ⑩ ）に当てはまる適語を答えなさい。
- （２）下線㊦の根拠となる法規範の名称及び条数を答えなさい。
- （３）あなたが所属する寺院・教会を包括する団体の名称とその所轄庁を答えなさい。
- （４）下線㊩にある当派の宗教法人が事務所に整備し、備えておかなければならない書類や帳簿を規定した法規範の名称及び条数を答えなさい。
- （５）あなたが所属する寺院・教会には、責任役員の他に総代が置かれています。総代の役割とその性格を簡潔に答えなさい。

設問２ 次の語句の読み仮名を答えなさい。

- | | | | |
|-------|--------|----------|---------|
| （１）撰述 | （２）濫觴 | （３）門弟 | （４）枢要の地 |
| （５）荷負 | （６）遵守 | （７）自信教人信 | （８）礼拜 |
| （９）聖教 | （１０）罷免 | | |

設問3 下の図は、宗会、内局、審問院の関係性を表したものである。
 下の問いに答えなさい。



- (1) 上の図の (①) ～ (⑤) に適語を補い、図を完成させなさい。
- (2) 宗会を構成する両議会のそれぞれの名称と定数、議員の任期を答えなさい。
- (3) 本派の代表役員以外の責任役員の名称と任命方法を答えなさい。
- (4) 本派の最高規範は何か答えなさい。
- (5) 門首が宗務に関する行為を行う際の手順とその性格を簡潔に説明しなさい。

設問4 次の文章を読んで（ ）に適語を補い、文章を完成させなさい。

- (1) 公告は、新聞紙や当該宗教法人の機関紙への掲載、(①)
の掲示場への掲示など適当な方法でこれを行うことが定めら
れている。宗教法人が境内地の著しい模様替をしようとする
際に、公告を行わなかった場合、(②) となるので、十分
な注意が必要である。
- (2) 普通寺院の財産は、(③) と (④) と (⑤) の三
つに種別し管理することになっている。普通寺院が財産の種
別を設定しようとする場合は、(⑥) の同意を得なければ
ならない。
- (3) 真宗本廟は、宗祖親鸞聖人の (⑦) を安置する御影堂と
阿弥陀堂を中心とする (⑧) であって、全ての寺院・教
会の (⑨) であり、本派に属するすべての個人や団体は、
真宗本廟を (⑩) しなければならない。

2020年(春期)

設問1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

「旧宗憲」の時代では、浄土真宗の法灯を伝承する者を「師主」と言い、その師主を本派においては (①) と言ってきました。(①)は、「広く人心を教化し、本派における宗意安心の正否を判ずる」と規定され、(①)と「本願寺住職」と⑦「管長」には、④全て同じ人が就任していました。

そこで、宗派・本願寺の運営に係る実行権限が集中的に付与される「人を中心」とした組織体制から、本来あるべき「教法中心」の真宗教団へ脱皮を図るべく、(②) 年に宗門の総意をもつ

て「宗憲」の改正が実現しました。この宗憲の改正は、いわゆる（ ③ ）といわれる諸問題・事件がその契機ではありますが、根本的には1962年に発足した信仰運動である（ ④ ）をとおして、宗祖の立教開宗の精神に立脚し現代社会に応えうる教団のあり方を望む宗門世論が、全国的に昂ってきたことにあります。

この「宗憲」では、これまでの「師主」という地位をあらためて、宗政上責任のある職務権限を（ ⑤ ）に移行し、宗教上の象徴的な立場として「門首」を定めています。「門首」とは、「宗憲」に規定してあるとおり、僧侶及び門徒の（ ⑥ ）にあって、同朋と共に真宗の教法を聞信する方です。そして、本派の僧侶及び門徒を（ ⑦ ）して、真宗本廟の宗祖親鸞聖人の御真影の給仕と、仏祖の（ ⑧ ）に任ずると規定されています。ですから「師主」とか「善知識」、あるいは所化〔弟子〕に対する（ ⑨ ）〔師〕という存在ではなく、どこまでもご門徒と一緒に教法を聞信し、帰依処たる教法の象徴、すなわち親鸞聖人の御真影の給仕と（⑧）を、われわれの（⑦）として行うのです。

まさしく、「御同朋御同行の交わりの中において立教開宗の本義を闡明して、真宗再興を成し遂げられた」蓮如上人と同じく、（ ⑩ ）の姿なのです。

- （1）文章中の（ ① ）～（ ⑩ ）に当てはまる適語を答えなさい。
- （2）下線㉑「管長」は、当時の教団においてどのような役割を担っていたか簡潔に答えなさい。
- （3）下線㉒の状態を何と呼ぶか答えなさい。
- （4）門首が宗務行為を行うときに必要な手続きの名称を答えなさい。
- （5）門首の地位の継承について規定している条例の名称を答えなさい。

設問2 次の文章にはすべてどこかに誤りがあります。誤りの箇所に下線を引き、根拠条文を用いて、その理由を答えなさい。

- (1) 宗教法人の合併は、合併後存続する宗教法人の事務所所在地を管轄する所轄庁の認証書の交付をもって効力が生じることになる。
- (2) いかなる宗教団体も個人も、宗教活動を自由に行うためには、宗教法人法に基づく手続きを経て宗教法人格を取得しなければならない。
- (3) 戦後、制定された宗教法人法は、憲法にうたわれる基本的人権の尊重と政教分離の原則が基本となっている。
- (4) 真宗大谷派の寺院において、住職名義の土地を当該寺院に売却することになったため、利益が相反する事項として仮代表役員を置くこととした。その選定にあたっては、他の責任役員の合議によって仮代表役員を選定した。
- (5) 輪番は、別院の住職であり、宗教法人である別院の代表役員として就任する。
- (6) 真宗大谷派の会計において、歳計に剰余が生じたときは、その半額を保管金として保管し、他の半額は翌年度の歳入に繰り入れるものとする。
- (7) 宗教法人は、公益法人の一種であるから、宗教活動以外の事業を行うことはできない。
- (8) 責任役員の人数を増員しようと規則変更を行い、所轄庁の認証を受けたので、認証書の交付から2週間以内に変更の登記を行った。

設問3

- (1) 宗教法人法の特色として、「責任役員制度」、「公告制度」及び

「認証制度」の3点を挙げるができるが、その中の「公告制度」とはどのような制度か簡潔に説明しなさい。

- (2) 宗教法人が「公告」を行う必要がある主な行為を5つ答えなさい。
- (3) 「責任役員制度」の概要とその意義について簡潔に説明しなさい。

2020年（夏期）

設問1 次の(1)～(10)の各文を読み、(ア)～(コ)の中に入れるべき適切な用語と、そのことが規定されている法規の分類記号を、解答欄にそれぞれ記入しなさい。

【法規の分類記号】

- A 真宗大谷派宗憲 B 真宗大谷派規則
C 宗教法人法 D 所轄庁の認証を受けた寺院の規則

- (1) この法人に宗会を置き、宗会は、宗憲に定めるところにより、僧侶の中から選出された議員（ア）で組織する宗議会と、門徒の中から選出された議員（ア）で組織する参議会の両議会で構成する。
- (2) 真宗本廟は、宗祖聖人の真影を安置する御影堂及び阿弥陀堂を中心とする聖域であって、本願寺とも称し、本派の崇敬の中心、（イ）である。
- (3) 宗務所に（ウ）を備え、寺院、教会の名称、所在地その他必要な事項を記載する。
- (4) （エ）は、新聞紙又は当該宗教法人の機関紙に掲載し、当

該宗教法人の事務所の掲示場に掲示し、その他当該宗教法人の信者その他の利害関係人に周知させるに適当な方法とするものとする。

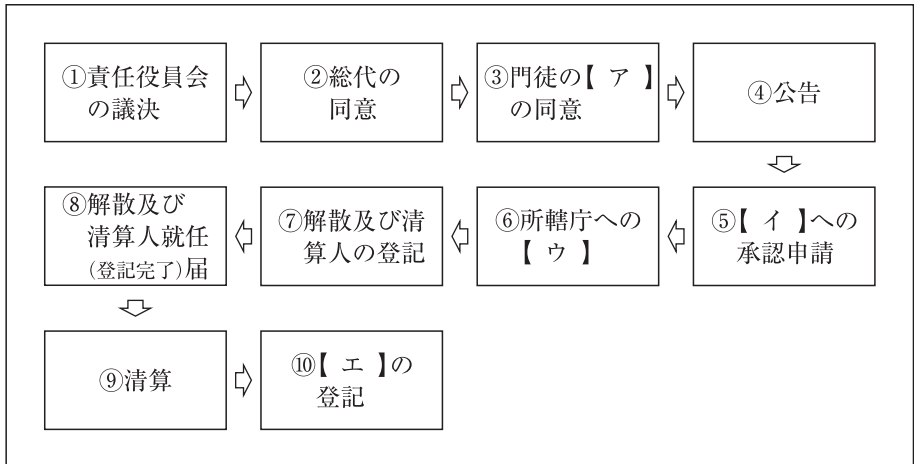
- (5) 住職の任命の申請は、(オ) の同意を得て、住職又は住職代務者が行い、住職及び住職代務者がともにないときは、(オ) が合議して行う。
- (6) 規則に別段の定がなければ、宗教法人の事務は、(カ) の定数の過半数で決し、その(カ) の議決権は、各々平等とする。
- (7) 普通財産たる(キ) を貸し付け、交換し、売り払い、譲り渡し、若しくは出資の目的とし、又はこれにこの法人以外の私権を設定しようとするときは、総代の同意を得なければならない。
- (8) 宗教法人は、法令の規定に従い、規則で定める(ク) の範囲内において、権利を有し、義務を負う。
- (9) 宗務総長は、本派の教師の中から、宗会が指名し、門首がこれを(ケ) する。この指名は、他のすべての議案に先だって、これを行う。
- (10) この宗門は、宗教法人法による宗教法人であって、(コ) という。

設問2 2020年7月1日、大谷暢裕門首後継者が真宗大谷派第26代門首に就任した。宗憲における門首の地位と宗務行為に関する権能について、宗門固有の伝統を踏まえて簡潔に説明しなさい。

設問3 宗教法人は、毎年所轄庁に、事務所に備え付けられた特定書類の写しを提出しなければならない。提出する書類の名称と提出時期に

ついて、根拠条文を挙げて説明しなさい。

設問4 次のフローチャートは、本派に所属する寺院の任意解散手続きの順序を示したものです。下の問いに答えなさい。



- (1) 上図のア～エに該当する適切な語句をそれぞれ記入しなさい。
- (2) 「①責任役員会の議決」及び「②総代の同意」に必要な賛成者を答えなさい。この場合、責任役員及び総代の定数はそれぞれ3名とする。
- (3) 本派に所属する寺院の公告の方法を答えなさい。
- (4) 解散の公告が終了した日から起算して、⑤の手続きを行うまでに必要な据置期間を答えなさい。
- (5) ⑦の解散の登記は、認証書の交付を受けた日から起算して、いつまでに行わなければならないか答えなさい。
- (6) 宗教法人法の特徴として、「責任役員制度」、「公告制度」及び「認証制度」の3点を挙げるができるが、これらの制度が

採り入れられている理由を答えなさい。

2021年（春期）

設問1 次の「宗教法人 A寺 責任役員会議事録」を読んで、下の問いに答えなさい。

宗教法人「A寺」責任役員会議事録

1 日 時 2021年1月6日（水）午後1時から午後3時まで

2 場 所 宗教法人「A寺」事務所

3 出席者 代表役員〇〇〇〇、責任役員〇〇〇〇、責任役員〇〇〇〇（定数3名全員出席）

4 議 題

（1）規則の変更について

（2）門徒会館の建設について

5 議事経過

① 議題（1）について、代表役員から、近年の門徒数の増加に伴い、その意見を十分に踏まえた寺院運営を行うために、「総代」の定数を「3人」から「5人」に増員し、その規則の変更を行いたい旨の提案がなされ、審議の結果、全会一致で提案どおり可決した。

② 議題（2）について、代表役員から、増加する門徒の便宜に供するとともに、宗教活動の充実を図るために、別紙計画案のとおり「門徒会館」を境内地に建設したい旨の説明があっ

た。これに係る経費は、従来積み立ててきた《A寺 門徒会館建設積立金》から拠出し、その工事はB工務店に依頼する旨の提案がなされ、審議の結果、全会一致で提案どおり可決した。

6 議決事項

- ① 規則を変更する（総代の定数を3人から5人に増員する）
- ② 門徒会館の建設を行う（別紙計画案のとおり。経費は「門徒会館建設積立金」から拠出し、工事はB工務店に依頼する）

—（以下略）—

（1）A寺は真宗大谷派の被包括法人であることを踏まえ、次の各文を読み、（ア）～（タ）の中に入れるべき適切な用語を答えなさい。

- ① 宗教法人には、（ ア ）人以上の責任役員を置き、そのうち1人を代表役員とする。代表役員と責任役員は宗教法人に必置の機関であり、代表役員は、宗教法人を代表し、その事務を（ イ ）し、責任役員は、規則で定めるところにより、宗教法人の事務を（ ウ ）する。
- ② 議題（1）の規則の変更を行うには、当該責任役員の定数の全員及び（ エ ）の（ オ ）を得て、（ カ ）の承認を受け、所轄庁の（ キ ）を受けなければならない。
- ③ 議題（2）の案件については、主要な境内建物の新築に相当することから、あらかじめ（エ）の（オ）を得て、工事着工の少なくとも（ ク ）に、その行為の要旨を示してその旨を（ ケ ）しなければならない。

- ④ 代表役員又は責任役員が、「死亡その他の事由に因って欠けた場合において、（ コ ）その後任者を選ぶことができないとき」、また「病気その他の事由に因って（ サ ）月以上その職務を行うことができないとき」には、規則で定めるところにより、（ シ ）を置かなければならない。
- ⑤ 代表役員は、宗教法人と利益が相反する事項については、（ ス ）を有せず、この場合には、規則で定めるところにより、（ セ ）を選ばなければならない。さらに、責任役員は、その責任役員と特別の利害関係がある事項については、（ ソ ）を有せず、この場合には一定の条件の下で（ タ ）を選ばなければならない。
- （２）上記（ケ）は、誰に対して行うのか。また、A寺におけるその方法を答えなさい。
- （３）宗教法人「真宗大谷派」における、代表役員及び責任役員は誰か。それぞれ役職名で答えなさい。

設問２ 次の文章は、どこかに１箇所の誤りがあります。誤りの部分に下線を引き、正しい語句を答えなさい。また文章の根拠となる法規の名称と条数を答えなさい。

- （１）寺院の設置、移転、合併及び解散は、宗会の議決を経て、宗務総長がこれを定める。
- （２）参務は、宗議会議員の中から、宗務総長が任命する。
- （３）教師であって、学事上資格のある者に対し、院号法名が授与される。
- （４）宗教法人が任意に解散する場合は、清算終了の登記によって、その効力が生じる。
- （５）宗教法人の住所は、代表役員の住民票記載の住所とする。

- (6) 教区に審問室及び監察室を設置し、宗務上の紛議を審査調停する。
- (7) 冥加金は、特別の必要があるときは、参与会及び常務会の議決を経て、臨時にその一部又は全部を融通することができる。
- (8) 宗教法人を設立するときは、定款を作成し、所轄庁の認証を受けなければならない。
- (9) 別院は組に所属される。
- (10) 宗派の予算は、参与会及び常務会の議決を経なければならない。

設問3 旧宗憲下において、宗議会のほかに門徒で構成する門徒評議員会が設置されていたが、その議決権は財務と門徒に関する事項に限定されていた。現行宗憲において、門徒の宗政参加についてどのように改められたか説明しなさい。

設問4 旧宗憲下において「真宗大谷派」と「本願寺」は、別の宗教法人格を有していた。1987年、宗教法人「真宗大谷派」が宗教法人「本願寺」を吸収合併しているが、「真宗大谷派」と「本願寺」が不離一体であることを宗憲に基づいて説明しなさい。

設問5 真宗大谷派の事務所は、真宗大谷派宗務所という名称だが、この「宗務」とは何か、宗憲に基づいて説明しなさい。

設問1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

「宗教法人」は、宗教活動を主たる目的とする宗教団体が、(①)により(②)を付与されて法人になったものである。宗教団体が宗教活動を行うためには、礼拝施設などの維持管理や、組織を維持するための寄附金の収納、経費支出などの業務が必要となる。宗教団体におけるこのような業務は、いわゆる「聖務」といわれる教義や儀式に関わる宗教活動とは異なり、いずれも宗教団体を維持するために必要な事務として、「俗務」と大別することができるが、(①)は、日本国憲法に謳われた(③)に基づき、この「俗務」の領域についてのみを規定している。

宗教法人の管理運営は、代表役員、責任役員等の機関及びその他の議決・諮問機関あるいは監査機関等によって行われる。代表役員とは、「宗教法人を代表し、その事務を(④)する」者をいい、宗教法人に必ず置かなければならない機関の一つである。また、この代表役員の氏名及び住所は(⑤)を行って公にしておく必要があり、代表役員が変更になった場合には、(⑥)以内に変更の(⑤)を行わなければならない。

また、代表役員や責任役員が何らかの事由で欠けたり、病気等で(⑦)以上職務を行うことができない場合には、すみやかに代務者を置かなければならない。なお、宗教法人において代表役員及びその代務者が1年以上にわたって欠けているときは、(⑧)の対象となる。

次に、同じく宗教法人に必ず置かなければならない機関である責任役員は、法人の事務を審議して意思決定を行う機関であり、規則に別段の定めがなければ、法人の事務は責任役員の定数の過半数で

決し、その議決権は（ ⑨ ）であることが（①）で定められている。ただし、真宗大谷派の寺院・教会については、通常は責任役員
の定数の3分の2以上、（ ⑩ ）や法人の合併又は解散などの重
要事項については、定数の全員による承認を必要としている。

このように、宗教法人は、責任役員会やそれぞれの法人が任意に
置いた機関の議を経て、事務を決定するが、場合によっては㉞包括
宗教団体の承認も必要になる。法人の事務を決定する際は、すべて
当該法人が規則で定めた手続を経る必要があり、代表役員が独断で
事務を決定することはできないことになっている。

- （１）文章中の（ ① ）～（ ⑩ ）に当てはまる適語を答えなさい。
- （２）宗教法人は、仮代表役員を選任しなければならないことがあ
ります。仮代表役員を選任しなければならない状況について
簡潔に説明しなさい。
- （３）真宗大谷派の各寺院・教会に設置され、その業務について勧
告及び助言をすることができる、事務の決定に係る同意機関
の名称について答えなさい。
- （４）真宗大谷派の寺院・教会が宗教法人の事務を行うにあたり、
下線㉞に示す包括宗教団体の承認が必要な手続きを３つ挙げ
なさい。
- （５）宗教団体の行う宗教活動が「公共の福祉」に反した場合は、
当然、他の法令の規定が適用されることになりますが、これ
を規定している法規の名称及び条数を答えなさい。

設問２ 次の文章（又は行為）には誤りがあります。根拠となる法規の
名称及び条数を示して、その理由を簡潔に答えなさい。

- （１）宗教法人「真宗大谷派」の所轄庁は、京都府知事である。

- (2) 宗教法人の設立は、法人規則が所轄庁に認証されたとき成立する。
- (3) 真宗大谷派に包括される寺院は、責任役員の定数の全員及び総代の同意並びに宗務総長の承認を得て、事務所の所在地を変更することができる。
- (4) 本堂の建て替えを行う際は、信者その他の利害関係人に異論等が無いことを確認するため、公告を行った上で、最低でも2ヵ月間の据え置き期間を設けなければならない。
- (5) 宗教法人「真宗大谷派」規則の変更を行えば、宗議会議員及び参議会議員の任期を改正することができる。
- (6) 門徒から、自身が進納した懇志がどのように寺院運営に活用されているか確認したいため、寺院（宗教法人）の決算書又は収支計算書を見せてほしいとの申し出があったが、役員でもない一般門徒であったため断った。

設問3 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

現在の真宗大谷派宗憲（以下「宗憲」という。）は、（ ① ）に全面改正されたが、その際新たに設けられた「前文」には、宗門生成の歴史とその存立の本義、更には⑦宗門運営の基本理念が崇高に掲げられている。

改正前の宗憲では、宗祖の血統を継ぎ、「法灯継承者」と規定された（ ② ）と、宗教法人「真宗大谷派」の（ ③ ）である管長と、宗教法人「本願寺」の（③）である本願寺住職の3つの役職を1人の人が担う、いわゆる「三位一体」の体制がとられ、事実上（②）が最高権威者となっていた。

そのような中で、1969（昭和44）年に起きた（ ④ ）を契機に、権力が一点集中する（②）と、その力を利用しようとする

一部の人々により、宗門の貴重な財産が私有化され、不法処分や不当行為が次々と繰り返される、いわゆる「教団問題」が惹起した。

1962（昭和37）年に、宗祖の七百回御遠忌法要を契機として提唱された（⑤）が力強く推進されていく中で起こった「教団問題」は、まさに起こるべくして起こった問題として、宗門に属する一人ひとりが自らの内面に流れる封建的体質と否応なく対峙する機縁となった。宗門の本来化を願う宗派側と、従来の体制を維持しようとする（②）側との対立は激化し、最終的には本山本願寺の宗派離脱という危機にまで至ったが、1980（昭和55）年、宗派側と（②）側との間で（⑥）が成立し、本山本願寺の宗派離脱は差し戻されることとなった。

（⑥）の翌年、教団問題の反省から、二度と同じ過ちを繰り返さないことと、真に宗祖の教えに基づく本来の教団の姿を取り戻すことを願って、宗憲が全面改正された。改正後の宗憲においては、本派の師主・法灯継承者とされていた（②）は、本来の（⑦）の伝統に基づく④「門首」に改められ、宗教法人「真宗大谷派」の（③）も、宗会によって指名される（⑧）が担うこととなり、議会制度も僧侶の代表で構成する（⑨）と、門徒の代表で構成する（⑩）の二院制に改められることとなった。

- （1）文章中の（①）～（⑩）に当てはまる適語を答えなさい。
- （2）下線㉑に示す宗門運営の基本理念について、簡潔に説明しなさい。
- （3）下線④に示す「門首」の地位と、門首が行う宗務について、内局との関係性をふまえて完結に説明しなさい。
- （4）宗教法人「真宗大谷派」は、宗教法人「本願寺」を吸収合併

して現在に至るが、この合併が成立した年月日と、なぜ吸収合併を行わなければならなかったのか、その理由を簡潔に答えなさい。

【解答のポイント】

2019年（春期）

《真宗学》

- 1 「大行とは、すなわち無碍光如来の名を称するなり」の語にもとづいて、浄土真宗における「真実行」について、詳しく述べなさい。

解答のポイント

「行巻」の冒頭に置かれる「大行」についての親鸞の言葉である。これに基づいて親鸞が「行」ということをどう見ていたかを述べるのがポイント。

一般に行とは、衆生における実践項目を意味する。しかし親鸞は阿弥陀仏の第17願である「諸仏称名の願」をもって真実行の根拠としている。ここには行に対する見方の転換がある。それは諸仏が阿弥陀仏を讃嘆する称名こそが衆生の迷いを破ると見ていたからである。この点を踏まえて、親鸞にとっての「称名」あるいは「名号」がもつはたらきについて論じてほしい。

- 2 親鸞聖人における『教行信証』撰述の意義について、詳しく述べなさい。

解答のポイント

親鸞が何故に『教行信証』を書いたのか、あるいは書かなければならなかったのか、これについて述べてほしい。それはまた、『教行信証』がどのような書物であるのかを述べることにもなるであろう。その際、

親鸞が引用を中心に「文類」という形式で書いたこと、また、「教・行・信・証」という順序で書かれていることにも注意が必要になる。ただ、『教行信証』執筆の根には、真実の仏道に出遇ったが故に、それを後の世までに伝えていこうという使命があることを忘れてはならない。また、自分にまで真実の仏道を伝えてくださった歴史への謝念に貫かれた書であることも踏まえてほしい。

《仏教学》

1 「戲論寂滅」の視点から龍樹の中観思想を解説せよ。

解答のポイント

- ・「戲論寂滅」の意味を正しく理解していること。
- ・戲論＝言葉による物事の実体化（分別）、つまり「有と無」の両極端を離れることが「中」であることを正しく説明できているか。
- ・「中」の思想が、釈尊の「縁起」の再表現であることを説明していればなお良い。そのほか、二諦説、八不などと関連づけて論説することもできる。

3 隋・唐仏教の主な特徴について了解するところを述べよ。

解答のポイント

- ・隋・唐仏教は中国仏教の完成期であること。
- ・中国仏教の完成は、一応「天台宗」「華嚴宗」などのように「○○宗」、「三階教」「浄土教」などのように特定のまとまりとして理解できると。

- ・こうした視点に基づいて、具体的に論述されていれば良い。

2019年（夏期）

《真宗学》

- 1 「それ、真実の教を顕さば、すなわち『大無量寿経』これなり」とはどのような意味か、詳しく述べなさい。

解答のポイント

「教巻」の冒頭に置かれる親鸞の言葉である。これに基づいて親鸞が「真実教」ということをどう見ていたかを述べるのがポイント。

注意しなければならないのは、「真実教」と言われており、決して「真実経」ではないこと。何故に、親鸞が『大無量寿経』に真実教を仰いだのか、如来の出世本懐とも重ねて論じてほしい。

- 2 『歎異抄』第三章にもとづいて、親鸞聖人における「悪人」について詳しく述べなさい。

解答のポイント

『歎異抄』の「善人なおもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」の語が何を語っているのかを述べてほしい。特に、第三章で「他力をたのみたてまつる悪人」と言われることの意味にふれながら、論じてほしい。

《仏教学》

- 1 四門出遊の物語について、①物語の内容を説明し、②釈尊出家の理由を考察せよ。(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

- ・「四門出遊」の内容を理解していること。(『改訂 大乘の仏道』P29以降)
- ・沙門との出遇いに注意して理解しているか。
- ・これらの内容を理解し、釈尊の出家の理由を主体的に論じているか。

- 3 中国仏教の流れを、①大きく四つの時期に分け、②各時期の特徴を簡潔に述べよ。(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

- ・テキスト第3部を総合的に理解しているか。(第3部第1章に書かれている)
- ・外来思想である仏教が中国に根付き普及する順序・次第として理解しているか。
- ・各期の内容を正しく把握しているか。

2020年(春期)

《真宗学》

- 1 「浄土三部経」の経典名をあげ、それぞれの内容について簡潔に述

べなさい。

解答のポイント

『仏説無量寿経』（大無量寿経、大経）、『仏説観無量寿経』（観経）、『仏説阿弥陀経』（弥陀経）という「浄土三部経」の名が正確に書けることが大事。

その上で、「無量寿経」は万人普遍の救いを成就する真実の法である阿弥陀仏の本願を説く經典であることを押さえる。

「観経」は万人を救う本願の名号によってまさに救われるべき人間を浮き彫りにした經典である。「大経」が「法の真実」をあらわすに対し、「観経」は「機の真実」をあらわす。

「阿弥陀経」は阿弥陀仏と極楽の功德莊嚴を説き、それが恒沙の諸仏によって証誠護念されていることを説いている。

それぞれの經典がもつ意義を述べることができれば、なお良い。

- 2 『歎異抄』の「如来よりたまわりたる信心」という言葉にもとづいて、親鸞聖人における「信心」について詳しく述べなさい。

解答のポイント

『歎異抄』の第6章および後序に出る「如来よりたまわりたる信心」の語が何を語っているのかを述べてほしい。如来のはたらきによって起こる信心であるが故に、人間の資質や経歴を問わず、誰に起こっても一つであり、平等の救いが成就することを押さえる。『教行信証』に述べられる「大信心」、「如来回向の信」と合わせて論ずることができれば、なお良い。

《仏教学》

- 1 「菩薩」について、①ジャータカ物語の菩薩から大乘の菩薩への転換、②大乘仏教における菩薩思想の重要性、の観点から述べよ。(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

- ・大乘仏教の基盤としてのジャータカ物語を念頭に置いているか。
- ・大乘仏教における菩薩思想の重要性を説明できるか。
- ・大乘仏教の菩薩行を正しく説明できるか。

- 3 中国南北朝時代の仏教について、①代表的な仏教者を数名取り上げて解説し、②この時代の仏教の特徴を説明せよ。(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

- ・中国仏教を歴史的な面から大きく理解しているか。
- ・中国における仏教定着期の意味内容を理解しているか。
- ・それらを具体的に説明できるか。

2020年(夏期)

《真宗学》

- 1 「雑行を棄てて本願に帰す」という言葉に基づいて、親鸞聖人における「回心」について詳しく述べなさい。

解答のポイント

親鸞聖人における法然上人との出遇いの中身について述べてほしい。
『教行信証』「後序」には「雑行を棄てて本願に帰す」と自ら記している。
その言葉の意味を正確にとらえていることが大事。特に、「雑行」に対して「正行」とか「称名念仏」と言わずに、「本願に帰す」と述べられた意義にも注意してほしい。

また、「回心」という言葉にも合わせてふれてほしい。『歎異抄』の「回心はひとたび」という言葉と考え合わせることができれば、なお良い。

- 2 『観経』に説かれる「王舎城の悲劇」について簡潔に述べ、それが何を教えているか考えるところを述べなさい。

解答のポイント

『観経』序分に説かれる「王舎城の悲劇」について簡潔に述べることをできるだけがまず求められる。その上で、単なる悲劇ではなく、浄土の教えが開かれる機縁になったことを押さえてほしい。『教行信証』「総序」の「浄邦縁熟して～」の語と合わせて考えていくことが大事。それを通して、「機の真実」をあらわす『観経』の意義を述べることができれば、なお良い。

《仏教学》

- 1 釈尊の「初転法輪」について、①内容をできるだけ具体的に解説する。②その意義について思うところを述べる。(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

- ・釈尊の生涯における、成道→梵天勧請→「初転法輪」を理解している。
- ・「四聖諦」の教えが説かれたことを理解している。
- ・教えを聞いた仏弟子が生まれて僧伽が成立し、これが「仏法僧」の三宝成就であることを理解している。

- 3 中国仏教における鳩摩羅什の業績について、①特に重要な点を三つ挙げる。②それを具体的に解説し、重要と考えた理由を述べる。(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

- ・初期大乘經典の決定版を翻訳した。龍樹の論書を初めて翻訳紹介した。多くの優秀な弟子を育成した。この三点を把握しているか。
- ・それぞれの内容を理解し、要点を的確にまとめていること。

2021年(春期)

《真宗学》

- 1 「真仏弟子」という言葉に基づいて、親鸞聖人における仏弟子観について詳しく述べなさい。

解答のポイント

テキスト『浄土の真宗』256～265頁を参考にしながら、まとめること。
「信巻」の「真仏弟子」というのは、真の言は偽に対し、仮に対するなり。

弟子とは釈迦・諸仏の弟子なり、金剛心の行人なり。この信・行に由って、必ず大涅槃を超証すべきが故に、真仏弟子と曰う」の語にしたがって論述すれば良い。特に「釈迦・諸仏の弟子」「金剛心の行人」「必可超証大涅槃」については、必ず触れること。

2 『大経』に説かれる「法蔵菩薩の発願」について詳しく述べなさい。

解答のポイント

テキスト『浄土の真宗』77～80頁を参考にしながら、『大経』に説かれる法蔵菩薩の発願について述べる。元は国王であった法蔵菩薩が、どうして出家して仏道を求めたのか。世自在王仏との出会いを通して、どのような願いを発したのか。その願いは48願として具体的に説かれるが、その要はどこにあるのか。などについて述べてほしい。この法蔵菩薩の願いが我々どう関係しているのかに触れられれば、なお良い。

《仏教学》

1 「四聖諦の教え」について、四つの関係が明確になるよう解説せよ。

解答のポイント

- ・「四聖諦」の各自を正確に書くことができ、内容を理解しているか。
- ・前半の「苦と集」は現実の苦しみという結果（苦）とその原因（集）、後半の「滅と道」は苦しみが解決した結果である涅槃（滅）とそこに至る原因（道）という結果と原因の関係を理解しているか。
- ・この論理的な構成を正しく理解し、分かり易く解説しているか。（特に「滅」は「苦しみを滅すること」ではないと正確に理解しているこ

とが重要)

3 中国仏教の特徴である「教相判釈」について、その内容を具体的に述べよ。

解答のポイント

- ・「中国仏教」の基本的課題（本来外国の思想である、翻訳を基本とする、インドの思想史と関係なく中国に入ってきた、といったこと）を理解しているか。
- ・「教相判釈」という思想が生まれる必然性を理解しているか。
- ・中国の仏教者の思索結果である「教相判釈」の具体的内容を知っているか。
- ・それぞれの内容を理解し、要点を的確にまとめていること。

2021年（夏期）

《真宗学》

1 「この経の大意は、弥陀、誓いを超発して、広く法蔵を開きて、凡小を哀れみて、選びて功德の宝を施することをいたす。釈迦、世に興して、道教を光闡して、群萌を拯い、恵むに真実の利をもってせんと欲してなり。」（聖典 152 頁）という親鸞の言葉にもとづいて、釈尊の出世本懷について詳しく述べなさい。

解答のポイント

親鸞聖人が釈尊の出世本懷（出世の正意）をどのように見ているかを

しっかりと述べることが大事である。特に、「大無量寿経」を真実教と押さえることの意味について書いてほしい。テキストでは66頁や226～230頁を参照すること。

「正信偈」における「如来所以興出世」と重ねて述べることができれば、なお良い。その際には、「釈尊」とどまらず「如来」と書かれてあることにも留意してほしい。

- 2 『教行信証』のいわゆる後序に記される言葉（聖典398頁）にもとづいて、親鸞聖人にとっての「承元の法難」について詳しく述べなさい。

解答のポイント

『教行信証』の「後序」の記述によりながら、親鸞が「承元の法難」をどのように見ているかを述べてほしい。テキストは36～38頁を参照すること。特に、直接に名前が挙げられる『興福寺奏上』をどう考えるかに注意してほしい。また、この一文が『教行信証』の「後序」に置かれていることと合わせて論ずることができれば、なお良い。

《仏教学》

- 1 釈尊の「自灯明 法灯明」の教えについて、①内容を簡潔に説明する。②それは私たちに何を教えようとするのか思うところを述べよ。
(①②と分けて書くこと)

解答のポイント

・「自灯明 法灯明」は、釈尊が般涅槃する際の言葉であることを理解しているか。

- ・ 釈尊入滅後の仏弟子のあり方を考えるヒントとして理解しているか。
- ・ これらを理解した上で、簡潔に主体的に論述しているか。

3 経典漢訳について、特に重要な人物を三人挙げ、解説せよ。

解答のポイント

- ・ 教科書には「四大訳経僧」(231 ページ)として、鳩摩羅什、真諦、玄奘、不空をあげているが、これに菩提流支を加えた中から3人選んでも良い。
- ・ 彼らが活躍した時代と翻訳した経論を正しく理解しているか。
- ・ 要点を簡潔に論述しているか。

きょうし し けんけんてい もんだい しゅう
教師試験検定問題集 15

2021（令和3）年12月28日発行

發行者 木 越 渉

發行 東本願寺出版
(真宗大谷派宗務所出版部)

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

TEL (075) 371-9189

FAX(075) 371-9211

E-mail shuppan@higashihonganji.or.jp

真宗大谷派（東本願寺）ホームページ

<http://www.higashihonganji.or.jp/>

ISBN 978-4-8341-0644-2 C1015

ISBN 978-4-8341-0644-2 C1015

ISBN978-4-8341-0644-2
C1015 ¥600E

定価：660 円（本体 600 円＋税 10%）
発行：東本願寺出版

